

磯田 学

Isoda Manabu



磯田さんと真庭ベースボールクラブのみなさん



毎朝の見守り活動は11年目

磯田 学さん(江川)

(一社)field of dreams真庭代表。社会人野球で活躍し、NTT中国所属時に補強選手として出場した第66回都市対抗野球大会で準優勝。オリンピック候補合宿にも参加する。システムエンジニア、役者などを経てUターン。仕出し屋だった実家の店名を継ぎ鉄板焼き「幸楽」を営みつつ、地域の課題解決に多方面から取り組む。

真

MANIWA BITO

庭人

子どもたちが輝けば地域が輝く

「地域の子どもたちに貢献する形で、自分を大きくしてくれたスポーツを通じて恩返しをしたい」。部活動の地域連携・移行が検討され始めた令和5年、勝山中学校野球部の外部指導者としていた磯田学さんは、子どもたちの活躍の場とするためクラブチームの立ち上げを決意しました。当初は、指導者2人とクラブ員10人余りで活動を開始。令和6年5月、一般社団法人field of dreams真庭を立ち上げました。名前には「子どもたち自身に活躍できるフィールドを開拓していったほしい」との思いが込められています。現在法人で運営するクラブは2つ。真庭ベース

挑戦し、失敗し、分析して引き出しが増える

ボールクラブには指導者11人とクラブ員51人、真庭バスケットボールクラブには指導者6人とクラブ員13人が所属しています。週末の練習を市内外のクラブチームなどと連携して行ったり、広島軟式野球クラブや真庭警察署などの社会人チームと毎年交流試合を行ったりするなど、充実した活動内容です。クラブ員同士切磋琢磨でき、地域全体の技術力も向上しているそうです。

ての経験が現在の取り組みにつながっています。「地域の方々や企業、チームのスタッフに支えられ、助けられて活動ができています。本当にありがたいです。子どもたちには挑戦して失敗してほしい。きっとそれは大きな財産になります。挑戦し、引き出しを増やし、想像力を育てていってほしいですね」。子どもたちのため、地域のため、今が頑張り時だと磯田さんは語ります。

